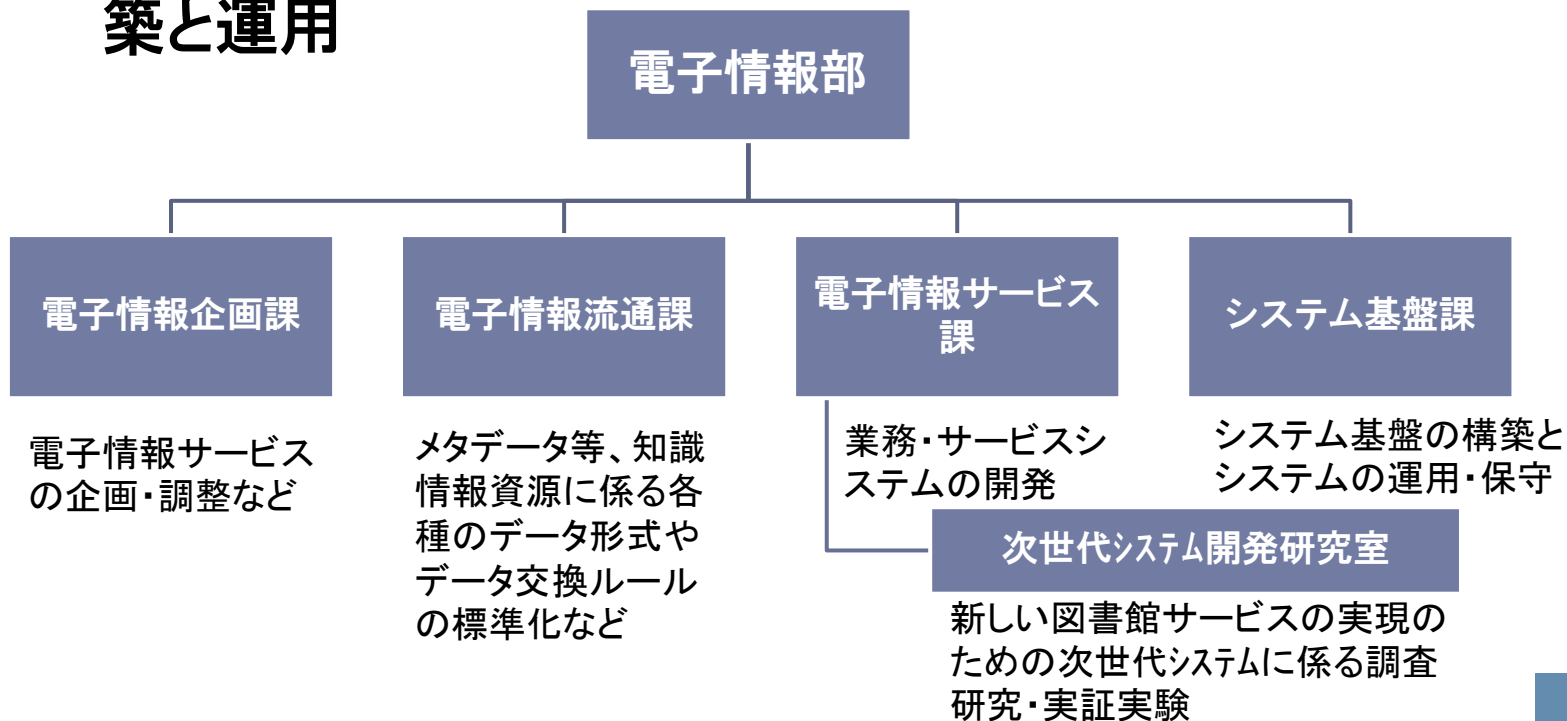






国立国会図書館における 電子情報の整備に関する 主な動き

①電子情報部の設置

- 電子情報に関する取組の強化
- 電子情報・システム関連の全体企画・調整を一元化
- 関西館のデジタルアーカイブ業務を除いたシステムの構築と運用



② 所蔵資料のデジタル化状況

資料種別	所蔵数(H22年度末) (A)	デジタル化実施済*1 (B)	デジタル化未実施 (A-B)	実施割合 (B/A)
 古典籍	29万冊	7万冊	22万冊	1/4
 和図書	427万冊	88万冊	339万冊	1/5
 和雑誌	455万冊	101万冊	354万冊	1/5
 博士論文	39万冊*2	14万冊	25万冊	1/3
合計	950万冊	210万冊	740万冊	1/5

*1 : デジタル化実施済刊行年代は次のとおり。

【古典籍】江戸期以前

【和図書】明治期～1968年刊行

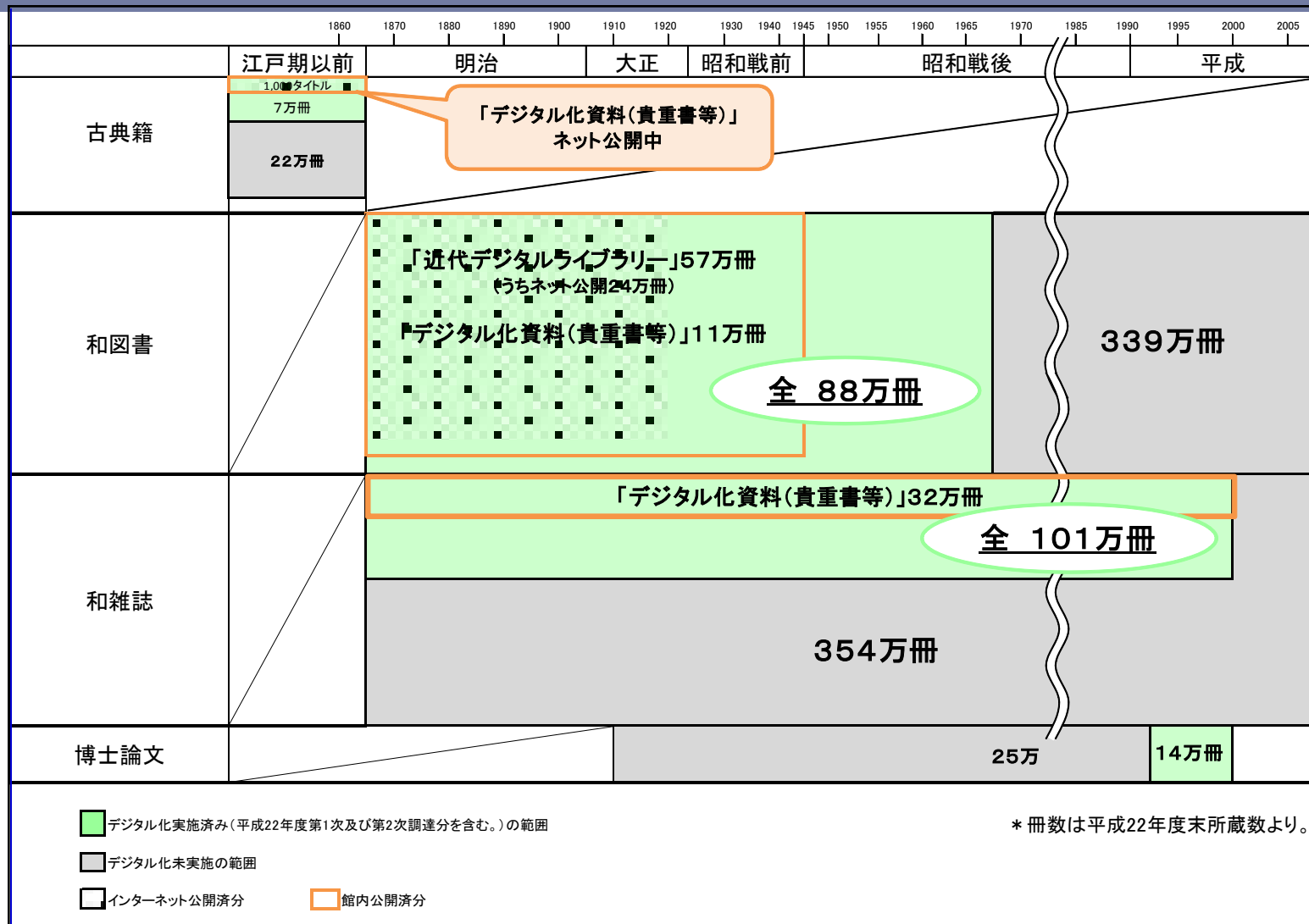
【和雑誌】明治期～2000年刊行(商業出版との調整タイトル等を除く。)

【博士論文】平成3(1991)年度～平成12(2000)年度受入れ

*2 : 平成21年度までの所蔵数から平成13(2001)年度～平成21(2009)年度整理数を除いた数。

(平成23年8月末までの実績)

② 所蔵資料のデジタル化状況



③ 業務基盤システム・NDLサーチの開発

業務基盤システムによる平成24年1月からのサービス

□ 電子情報の利用を中心としたサービスへ

国立国会図書館サーチ(<http://iss.ndl.go.jp/>)によるナビゲーションの充実。NDLだけでなく他機関の蔵書、電子情報資源も併せて検索

□ 印刷物と電子情報の一体的利用を可能に

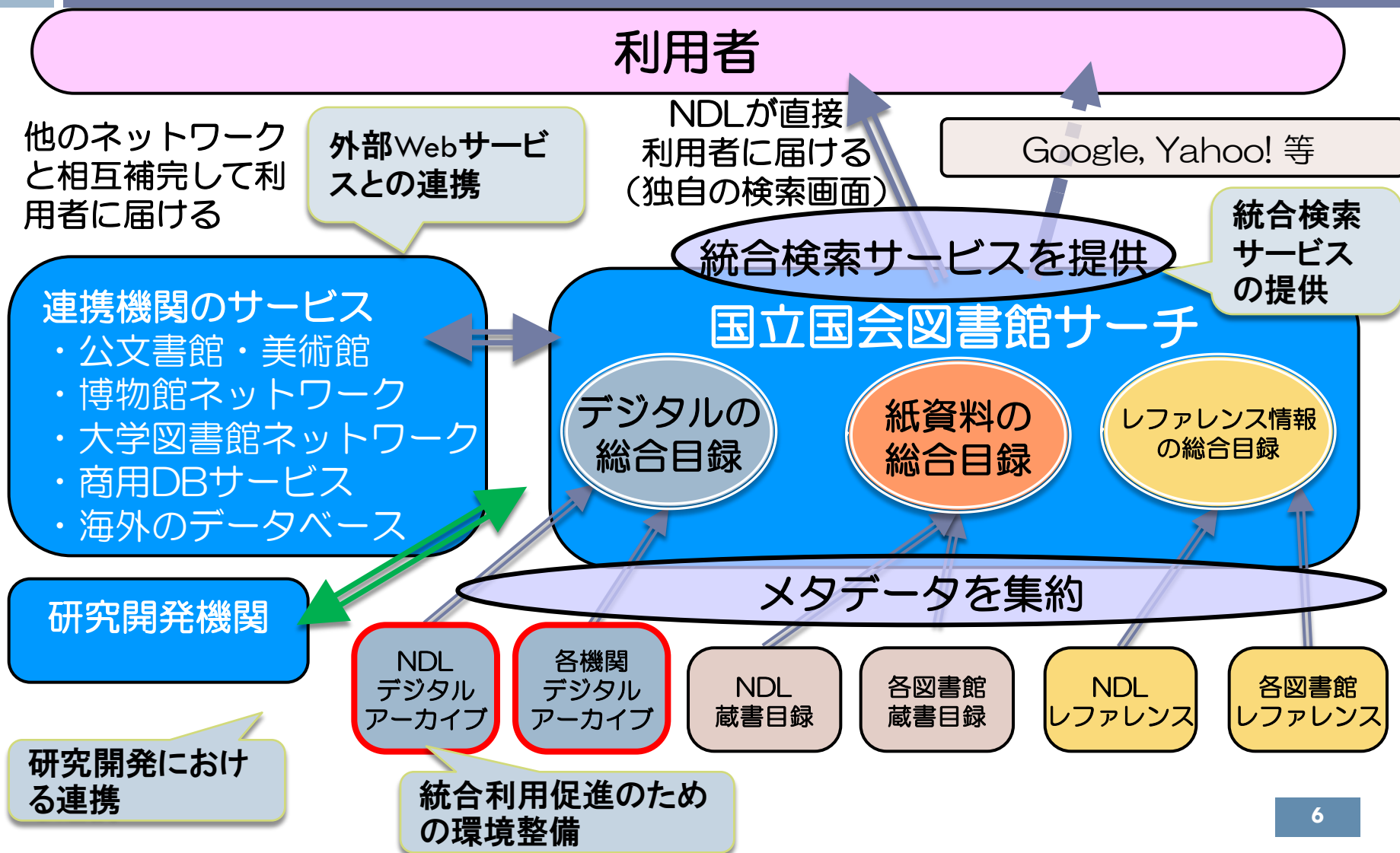
電子ジャーナル、e-Bookの書誌データをNDL-OPACに搭載

□ デジタルサイネージ(電子看板)の導入

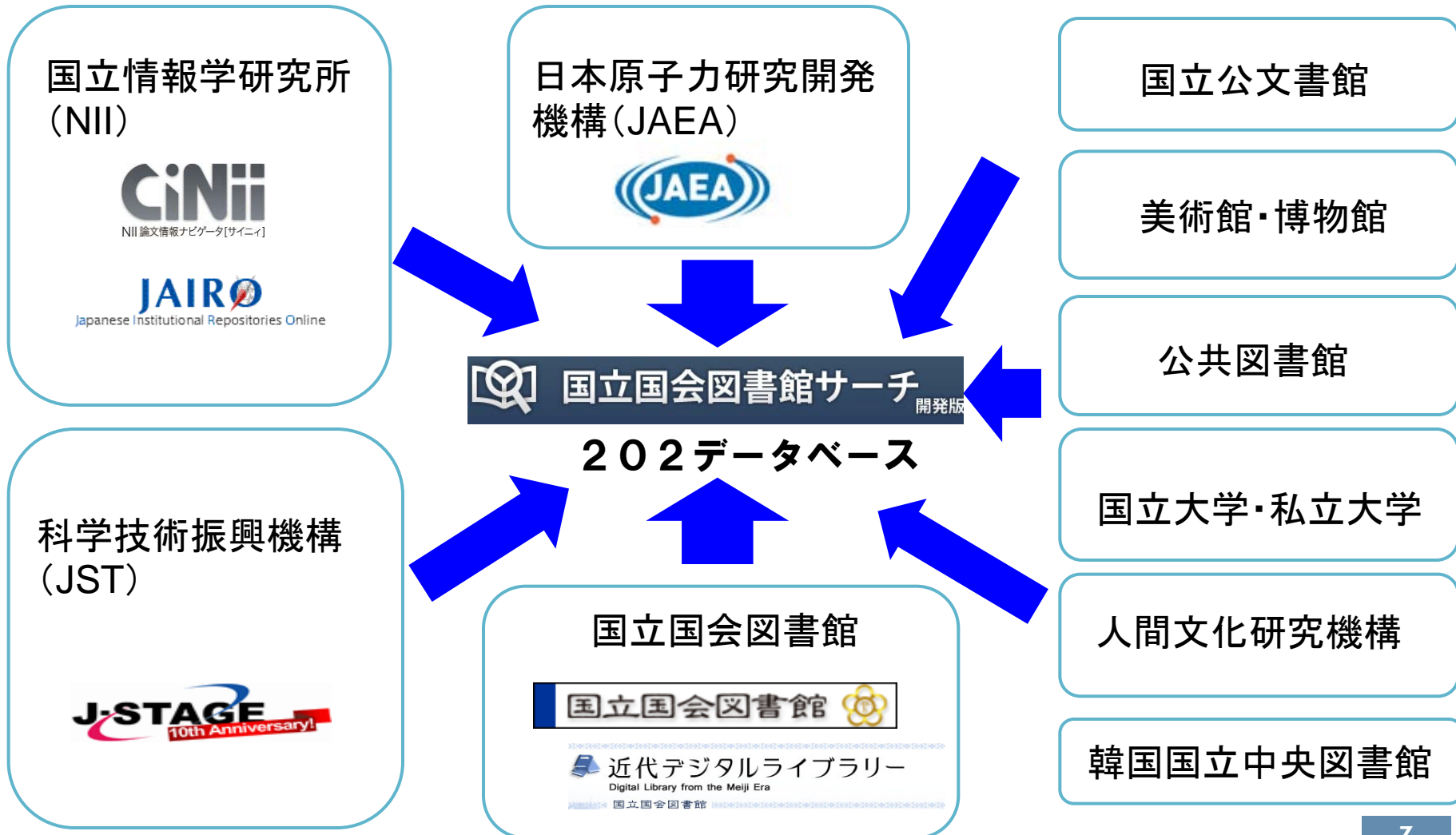
来館利用サービスでは総合的な利用案内を展開
イベント情報、広報等の充実



③ 業務基盤システム・NDLサーチの開発



③ 業務基盤システム・NDLサーチの開発



③ 業務基盤システム・NDLサーチの開発

国立国会図書館サーチの機能

- メタデータ連携と提供機能

メタデータの収集・配信の標準APIを実装

- 検索支援機能

キーワードサジェスト、再検索キーワードの提示、絞り込み検索等
NII連想検索エンジン(GETAssoc)の利用、J-GLOBAL連携

- グループ化

同じ小説の単行書と文庫本を同一著作物としてグループ化、表示

- 外国語対応

英語・中国語・韓国語の資料を日本語で検索し、日本語で表示

- 様々な用途に対応したGUIの提供

携帯電話・スマートフォン対応、障害者向け資料の検索機能、
子ども向けのGUIの開発等

④ 国等のインターネット資料の収集状況

平成22年4月、国、地方公共団体、独立行政法人等のインターネット資料の許諾なしの収集を開始

□ 提供方法

□ 「インターネット資料(ウェブサイト別)」
(<http://warp.da.ndl.go.jp/>)

□ 「インターネット資料(著作別)」
(<http://dl.ndl.go.jp/#internet>)

ウェブサイトに掲載された白書、年鑑、報告書、
広報誌、雑誌論文などを抽出して収録



④ 国等のインターネット資料の収集状況

□ ウェブサイト別の収集状況

	国の機関	都道府県	政令指定都市	市町村	法人・機構	国公立大学	私立大学
収集頻度	年12回	年4回					年1回
収集タイトル	61件	47件	20件	3,227件	218件	531件	

□ 著作別の整備状況

- 計 89,281件(うちインターネット提供:73,219件)
- 内訳:国の機関約25,100件、地方公共団体約61,500件など

(平成23年10月末現在)

⑤オンライン出版物収集の制度化

インターネット等で提供される民間の電子書籍、電子雑誌等の国立国会図書館法に基づく納入義務化を検討中。

□ 運用の想定－収集

□ 収集方法

- 発行者による送信
- 発行者による記録媒体の送付
- 当館による収集ロボット等による収集

□ 送信・送付に要する費用の支払い

⑤オンライン出版物収集の制度化

□ 運用の想定ー収集対象資料

□ 商用出版物

- 電子書籍、電子雑誌(新たに編集過程(オーサリング)を経たもの、過去の出版物を電子化するものを含む)(当館閲覧環境(PC用ビューワ、ブラウザ)で利用提供できるもの)

□ 非商用出版物

- 大学紀要、学協会オンラインジャーナル、団体刊行物
- 図書、雑誌等に該当する非営利オンライン出版物

注)私立大学の機関リポジトリは提供義務からの除外となり得る。

⑤オンライン出版物収集の制度化

□ 運用の想定ー収集対象資料(続き)

□ 今後の収集について協議を継続するもの

- 当館の閲覧環境で利用提供できないもの(例:電子書籍アプリ、携帯向けコンテンツ等PC用ビューワ、ブラウザがないもの)
- 当館において保存のための複製ができないもの(DRM付きのもの)

□ 当面収集対象外とするもの

- 版面をそのまま電子化(PDF、画像)するもの
- 電子新聞ー頻繁にデータの更新、書き換えを行う部分があり、サービス全体として一つの出版物の形態をなすもの

